

# 令和4年第6回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年6月10日（金）

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘教育総務課長、木村武俊生涯学習課長、山家一博学校教育専門監

5 開 会 午後2時

6 令和4年第5回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。

一盃森委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告

報告第6号 令和4年第2回大河原町議会定例会（6月会議）の結果について

教育総務課長、生涯学習課長より説明。

一盃森委員 | 大沼忠弘議員の給食原材料費高騰の質問。臨時交付金がこのような形にも使用できるのが知らなかった。町の広報等でアピールしても良いと思う。

丹羽委員 | 学校に伝えるようにしたほうが良い。原材料費高騰分の負担は無いと。

佐藤教育総務課長 | 学校給食だより等でお知らせしたい。

一盃森委員 | 臨時交付金の使い道は自治体に任せられている中、価格高騰への補助はすばらしい。伝えてよいと思う。

丹羽委員 | 親は安心する。

小山委員 | 保護者の間でも話が出ている。保護者へ安心するよう伝えることが必要。

佐藤教育総務課長 | 黙食の質問。自分のペースで食べられるので良いという意見もある。

佐藤教育総務課長 | 黙食による残食の影響は、中学生は残食が無くなった。小学生は増えた。

佐藤教育総務課長 | 小学生はグループで食べ、苦手な食材を克服できる場合があるとの分析がでている。逆に中学生は自分のペースで食事に対する時間が使えるので残食は減ったとの分析である。

舟山委員 | おかわりいっぱいする子は黙って食べる。黙食が良い効果がある。

丹羽委員	ゆっくり食べる子もいれば、早く食べる子もいる。給食の時間は決まっているのか。
佐藤教育総務課長	給食の時間は決まっているが、グループだと話が進み、食事時間が無くなってしまう子がいる。黙食だと集中して食事できる。
丹羽委員	昔は、遅い子でも全部残さず食べなさいといった指導。今はこのようなことが無いので安心している。アレルギーの子の場合の対応は？
佐藤教育総務課長	アレルギー食は一献立しか作れない状況である。すべてには対応が難しい。
鈴木教育長	症状がひどい子は弁当持参している。
小山委員	黙食の場合、給食をゆっくり食べる子が、好きに自分の思いで食べられる。
舟山委員	大沼常次議員の質問。身分証明書の意図は？
佐藤教育総務課長	回答要旨説明。
一盃森委員	部活動外部指導者を入れる動きが拡大している。今後、部活動などが全部、学校から離れれば、時間割の検討ができるのではないかと。現在は学校の中での工夫しかできないのではないかと。
鈴木教育長	各学校では弾力的に時間割を変更。最終的に年間の授業時数を確保する。中学校の部活動地域移行関係は、今後、議論が必要。
一盃森委員	部活動が可能な環境整備も考えて行かなければならないと思う。
丹羽委員	部活によって、負担する金額が違う。家庭環境により好きな部活が出来ない場合がある。
舟山委員	子が家庭環境など自分で考えて、決断するのも大事である。

## 報告第7号 工事請負契約の締結（大河原中学校校舎前屋外環境整備工事）について

教育総務課長より説明。

一盃森委員	現在、校舎前に先生方の車を駐車している。プール隣の駐車場はどのようになるのか。
佐藤教育総務課長	今後は学校と協議しながら進める。体育館が避難所なので、どちらも駐車場の確保が必要。
丹羽委員	10台分くらいは来賓用専用が必要。
佐藤教育総務課長	20台分は来賓用として、駐車スペースを確保すると学校から話をいただいている。
丹羽委員	来賓用スペースは見えるところを開けていただかないと。スペースが見えないと車が入れないとってしまう。工夫が必要。
一盃森委員	来賓用・一般用スペースについて、体育館脇のすぐ横は、雪が落ちて車が傷つく可能性がある。

佐藤教育総務課長 | 検討していく。

#### 報告第 8 号 工事請負契約の締結（大河原町パークゴルフ場整備工事）について

生涯学習課長より説明。

丹羽委員 | 白石川の水が溢れるのでは？保険など入るのか。

木村生涯学習課長 | 工事期間中の増水は、工事業者で対応予定。仮設トイレなどは、別の場所へ移動をして増水に対応予定。芝部分には設置物は置かないようにして対応。

一盃森委員 | オープン予定は来年度？維持管理の人が必要ではないか。

木村生涯学習課長 | 芝の管理から運営面まで、実績がある事業所があるので、話を聞いているところである。芝が根付くまでを考え、5年度のオープン予定。

### (2) 専決事務報告

#### 報告第 3 号 専決処分の報告について

(令和 4 年度大河原町一般会計補正予算 (第 4 号))

教育総務課長より説明。 異議なし

## 8 議 事

#### 議案第 24 号 令和 5 年度使用教科用図書採択基準について

教育総務課長より説明。

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

次回の臨時教育委員会で使用教科用図書について審議する。

#### 議案第 25 号 大河原町地区スポーツ推進協力員の解嘱について

生涯学習課長より説明。

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

#### 議案第 26 号 大河原地区スポーツ推進協力員の委嘱について

生涯学習課長より説明。

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

#### 議案第 27 号 大河原町学校給食運営審議会委員の任命について

教育総務課長より説明。

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

## 9 その他

### (1) 教育長報告（校長会資料による報告）

#### 1 俳句のタネをまき続けて（夏井いつき）

中学校の国語の先生。授業では話合いの学習に力を入れていた。対話的な学びである。俳句は、ほんの少しだけ、詳しく具体的に書くというオリジナリティーが大切。大河原でも俳句・短歌のコンクールがあり、昨年度は最も多い応募があった。今年度も小中学校で多くの応募があると良い。夏井先生は、悩みがある生徒の作品がすばらしかったと言っており、やはり、悩んでいる子どもはいろいろと考えているのだと思う。

#### 2 算数科における学習評価の課題と改善（笠井健一）

分かりやすく解説している。是非数学の先生に読んでいただきたい。指導と評価の一体化ですが、大河原町の目指す姿と一致。先生方には自信を持って取り組んでいただきたい。国で求める主体的・対話的で深い学びは、校内研修でも扱われるべきであり、授業づくりでも意識していくべきものである。

#### 3 アクティブ・ラーニングを超える授業（石井英真）

対話的学びと同じ。このような授業を実施してほしい。小学校では対話的な学びを取り入れている部分が多いが中学校ではまだ浸透しきれていない。対話的学びをした学校は学力も上がると言われており、生徒を信じて学び合う部分を授業に取り入れていくことが大事である。

#### 4 『子どもが心配』（養老孟司）

勉強が分かる大切さ。学びの大切さがある。非行に関しても不登校に関しても学習の意味がある。

#### 5 しんどさに気づかれない子どもたち（宮口幸治）

発達障害や知的障害の診断がされないが、グレーゾーンの子どもは運動等苦手意識を持つ子が多い。このような子が非行に走ったり、犯罪に手を染めてしまう子がいるという。救うのは学校だけしかなく、手を差し伸べて気づく支援をしていくのが大事である。

#### 6 小学校特別活動映像資料解説パンフレット（国政研）

非認知能力の育成である。若い先生に取り組んでいただきたい。

## 7 人事等について

### (1) 留意点

### (2) 校長・副校長・教頭候補者等の選考日程等

## 8 その他

### ①大河原町立小学校の運動会の様子

3年ぶりの全校一斉の運動会である。

### ②柴田郡中学校総合体育大会の様子

大河原中・金ヶ瀬中ともに県大会出場がある。

### ③大河原中学校学校運営協議会の状況

防災教育のテーマでの話。

### ④不登校の子どもをもつ親の交流会。「ほっとタイム」の説明

不登校は一人一人状況が違う。要因も様々である。社会的包摂が大事である。

### ⑤土曜子供塾（中央公民館）の様子

みんな本気で勉強している様子。中央公民館、金ヶ瀬公民館合わせて32名の参加申込があった。こちらも社会的包摂。非常に素晴らしい取り組みである。

丹羽委員	フリートークの話。お互いの気持ちを理解し合えるが、子どもに対し「大丈夫だよ」という気持ちが大事。
一盃森委員	「ほっとタイム」。5回連続で違うテーマでやるのは、とても良い企画。是非、気持ちが向かない保護者も多いが、継続的にやるのが大事だと思う。大河原町は、不登校予備軍が多い。どうしたら良いのかと思う。
舟山委員	宮口先生の話。子供達の健診で身体的な異常を見つけると思うが、3歳くらいの子供をみて、学習についていけないと心配になる子どもがいる。早期の指導があれば、適応するのではないかと思う。
丹羽委員	不登校の話が出たが、大河原町は安心して住みやすい町を目指す。マイナスをプラスに考える。
小山委員	障害がある子。本人や家族が集団生活についていけなくなる。早い対応が不登校にならない要因にもなる。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどについて、予約などがあり相談しづらい。敷居が高いイメージがあり、気にしてしまう。学校の中で相談しやすい環境があれば良いと思う。ほっとタイムはすごく良い。大変苦勞している保護者が、相談して自信を持つことができる。
一盃森委員	不登校だった方の体験談も良いのでは。
丹羽委員	安心して相談できる環境が必要である。予約しながら行くのでは、重い雰囲気がある。他の町から来るような雰囲気があれば、大変良い。

舟 山 委 員 鈴木教育長	保護者の方の誘いは、どのようにして誘ったのか。 スクールソーシャルワーカーの力が大きい。
------------------	---

## **(2) 各課長報告**

### **教育総務課長**

行事予定について

### **生涯学習課課長**

行事予定について

## **10 次回教育委員会の開催日程について**

鈴木教育長 | 臨時教育委員会は令和4年7月1日(金)午後2時から開催する。

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和4年7月15日(金)午後2時から開催する。

## **11 閉会宣言 午後4時30分**

令和4年7月15日

署名委員

署名委員